



# 上尾ロータリークラブ



2011-12年度R.I.テーマ

こころの中を見つめよう  
博愛を広げるために



## 第2431回 例会

2012.2.16

週報 No. 1910  
発行 2012年2月23日

### 会長あいさつ

名取 勝 会長

今月の23日はポール・ハリス氏がロータリーの第一回目の例会を行なった日でロータリーの創立記念日となっております。その創立記念日の前後の2週間はロータリーの世界理解と平和週間となっております。20世紀初頭のアメリカでは自動車が開発されて石油の消費量が増加してきてアメリカの経済が物凄く発展してきました。

ロータリー発祥のシカゴというはギャングのアル・カボネが活動していた街です。20世紀初頭のアメリカの金融界は規制を多く掛けてその後アメリカンドリームといわれるような豊かな時代を作ってきました。

そして21世紀に入り2008年にリーマン・ショックが起きました。この出来事が起こった瞬間は評論家、経済アナリストは日本には大した影響はないと言っておりましたが、時間が経つに連れて日本ほどひどい影響を受けた国はないと言われるようになりました。21世紀に入って起こったリーマン・ショックは第2次の世界恐慌だという人も出てきました。昨年日本で公開されたインサイド・ジョブというドキュメンタリー映画がございます。

これは2010年のアカデミー賞を取った作品です。この映画を見て思ったのは強欲資本主義を貫き個人個人が欲の塊となって仕掛ける動きによって日本を始め世界が引きずられるという内容でした。その仕掛けた人達は数年の間で日本円して数百億~数千億を儲けたそうです。これがただの映画だったら問題ないのですがこの映画はドキュメンタリー映画で実際に起こったことであり私たちはいまこの21世紀の恐慌のまっただ中にいます。私たちはこの恐慌に関してよく知っておかないといけないと思います。

皆さんもこの映画を機会があれば見て頂きたいと思っております。本日の例会よろしくお願いたします。

会長 名取 勝  
幹事 関口 和夫  
副会長 島村 健  
副幹事 齋藤 博重  
編集責任者  
クラブ広報委員長 深澤 圭司

ゲスト  
青少年交換留学  
ニノ君

行事予定  
3月1日 JAXA見学  
3月8日 卓話  
3月15日 卓話  
3月22日 クラブフォーラム⑦  
3月29日 定款の規定により休会

### 幹事報告

#### 関口和夫幹事

- ◆献血の依頼が埼玉県赤十字社血液センターから来ております。日程は4月5日となっております。よろしくお願いたします。
- ◆鴻巣ロータリークラブより文化講演会のご案内が来ております。3月31日クレア鴻巣大ホールにて長谷川博一氏の「普通な家庭で潰されていくことの心」というテーマで講演がございます。ご興味のある方は事務局までお申し出よろしくお願いたします。
- ◆週報が一回ずれて発行されております。来週2回分まとめて発行させていただきます。
- ◆3月1日のJAXA見学の欠席についてまだ委員長に連絡されていない方は至急ご連絡していただくようよろしくお願いたします。

三國年度ではインドの3000地区に行ってきました。インドでは衛生面での支援や指導に行ってきたそうです。こういった活動に会員皆様のお金が使われております。今後ともよろしくお願いたします。

#### 社会奉仕委員会 齋藤哲雄委員長

障害者作品展示即売会の売上報告が来ております。総売上が158万5280円でございます。皆様のご協力ありがとうございました。



また先ほど幹事からもご連絡がございましたが4月5日に献血活動がございます。また皆様は献血当番等、ご協力をお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

### 委員長報告

#### 世界大会委員会 富永建委員長

皆様のお手元にあげお祭りの収支報告書をお配りしております。この売上に2000ドルを追加して東日本大震災の財団基金に義援金として寄付する事になりました。



皆様のご協力のおかげで赤字が出ずに無事終わることができました。ありがとうございました。

世界大会についてですが飛鳥ツーリストさんを通じて参加される方は説明会を本日の例会後行いますのでよろしくお願いたします。

#### 地区財団委員会 大木保司委員長

前年度からGSEの名前がVTTと変わりました。井橋年度で活動するチームがあったのですが震災の影響で活動見送りとなっておりますが本年度になりましてフィンランドの方に行きまして活動をしてきました。



### 卓話

#### 吉川公夫会員

本日は卓話の時間をいただき誠にありがとうございます。本日は囲碁のお話をさせていただきます。碁盤は縦横19の合計361に打つ場所がございます。その361の中でプロ棋士は乱戦になっても一目見て30手先を読むそうです。



プロの手合いを私が解説するのは中々難しいので本日は囲碁の歴史と何故、私が囲碁を始めたのかという内容でお話したいと思います。まず囲碁を始めたきっかけですが、実は父親の勧めで父親も囲碁が好きで来客がきた時はよく食事をしてその後囲碁をやっていました。

ある時、父親が私に趣味は2つ持つと言ってきました。まず健康体で楽しめる趣味を1つそして措いても楽しめる趣味を1つ持ったほうが良いと言われました。

それで囲碁好きの父親の影響で囲碁を始めることになりました。囲碁始めた直後に結婚をしました。しかし囲碁に熱

### AGEO ROTARY CLUB

中した為毎晩帰りは遅かったです。いま考えると妻には悪いことをしたなと思っております。

私が何故、こんなに囲碁のめり込んだかと言いますと1級か2級くらいの腕の時に大宮の南銀座の碁会所に行き席亭さんに対局の取り次ぎをお願いしたところ一人お爺さんが居てこの人に席亭さんが取り次いでくれたのですが、

このお爺さんは見下したような目付きで無言で手を左右に振って拒否しました。私はとても侮辱されたなと感じいつか見返してやろうと思ひさらに囲碁にのめり込んでいきました。

そして始めて約1年で初段を取得しました。昭和48年には飛びつけ3段の免除を頂きました。3段をとった後にゴルフを勧められてやったところ面白く感じしばらくゴルフばかりしていました。その後、間空きまして昭和52年に4段の免除を頂きました。この4段の免状が私の宝になっています。

囲碁は3000~4000年前に中国で発祥されたと言われております。日本に伝来したきっかけは遣唐使の吉備真備が伝えたそうです。平安時代では貴族のたしなみとして好まれていたそうです。

枕草子や源氏物語にも囲碁の描写があります。室町時代から囲碁が広まり始めて公家、僧侶から武士、庶民まで広まりました。この時代から有力者が碁打ちを抱えて賭け碁が盛んに行われるようになりまして。戦国時代では織田信長や豊臣秀吉など有名武将が戦のシミュレーションとして碁を打っていたそうです。

江戸時代では年1回江戸城内で「お城碁」が開催されてきました。その当時は家元制度でそれぞれの家元が名誉をかけて競っていたそうです。「お城碁」負ければ弟子入りの数が減るつまり収入が減るので熾烈な戦いだったそうです。

明治時代になりますと後ろ盾だった將軍がいなくなったので、碁好きが集まった碁碁結社「方円社」を設立しその後1923年に大倉喜七郎が日本棋院を設立しました。

戦時中はプロも碁碁だけでは食べていけず地方に疎開しドサ周りして口を凌いだそうです。

現況についてですが50年前は1200万人ほど碁碁人

口がいたのですが現在は350~400万人に激減しているようです。昔は韓国、中国にプロの組織などはなくみんな日本棋院の大会を目指していたそうです。

そういった状況がありていまでは韓国や中国の方が日本よりレベルが高くなっています。この原因として日本人は世界の強豪を相手にしなくても国内での大会で十分に生活が出来ることにあります。

そのため国際試合等はまったく行われておりません。ちなみに韓国では世界大会で優勝すると兵役免除になるので日本人とはまったくモチベーションが違っています。

日本人でも頑張っている棋士はいますが、やはり環境が良すぎるのが少し良くないと思います。やはりプロの世界ですのでハングリー精神がないと隆盛を誇れないと思います。

碁碁の用具についてですが、碁碁の素材は良いものだと樹齢が数百年の榿の木を使っています。宮崎県産の物が一番と言われております。何故、榿の木がいいかと言いますと弾力があるので石を打ってへこんだ跡が翌日には消えるからです。

他の素材は桂、イチヨウ、ヒノキ等が使われています。碁碁の目は太刀盛りで線を引くそうです。碁碁の裏側にはへこみがあります。このへこみは石を打った時の音が出るように設計されています。このへこみの別の言い伝えとして血溜まりと言われている。対局中に横から口を挟んだ者の首を刎ねてへこみの中に落ちて晒されていたそうです。

碁碁の足はくちなしを模っています言葉通り横から口を挟まないよという意味合いがあります。碁碁は黒石と白石があり黒石の素材は三重県熊野市的那智黒で白石はハマグリの貝殻を型抜きし磨いたものを使います。

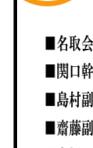
碁碁は碁碁を入れる入れ物で素材としては桑、柿、紫檀、黒檀の木で作られています。今回、卓話するにあたって碁碁について色々調べたのですが改めて凄いなと感じました。

碁碁のマネー違反についてですが一般的には一度置いた石を剥がす、横から口を挟む、碁碁の中の石でガチャガチャ音をたてる、碁碁の横を碁碁で叩くなどがあります。

あと関東と関西で違うなと感じたのは関東では1時間単位で支払いをします。関西では対局の勝敗によって支払いを行います。

私も歳をとってきたので父親に言われたように碁碁をもっと楽しんでいきたいと思ひます。できれば5段目指して頑張りたいです。ご清聴ありがとうございました。

出席	会員数	39	出席数	23
欠席	欠席数	12	(%)	58.97
前々回確定			欠席数	0
修正 (%)	100		(M・U)	0



### スマイル 35,000円

- 名取会長 吉川さん卓話ありがとうございます。
- 関口幹事 卓話ありがとうございます。
- 島村副会長 吉川さん卓話ありがとうございます。
- 齋藤副幹事 吉川さん卓話ありがとうございます。
- 大塚PG 吉川さん卓話ありがとうございます。
- 大塚直前会長 吉川さん卓話ありがとうございます。
- 吉川会員 ご清聴ありがとうございました。
- 横山会員 結婚祝いありがとうございます。
- 須田会員 ありがとうございます。
- 富永会員 吉川さん卓話楽しく拝聴しました。誕生祝いありがとうございます。
- 大木会員 吉川さん卓話ありがとうございます。
- 花井会員 卓話ありがとうございます。
- 齋藤(権)会員 吉川さん卓話ありがとうございます。
- 小林会員 吉川さん卓話ありがとうございます。
- 齋藤(重)会員 吉川会員卓話感謝
- 竹内会員 卓話ありがとうございます。
- 吉野会員 本日もよろしくお願いたします。
- 野瀬会員 本日もよろしくお願いたします。
- 井上会員 よろしく
- 神尾会員 よろしく
- 沼尻会員 吉川会員卓話ありがとうございます。
- 古賀会員 吉川先生お話ありがとうございます。

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30 事務所 〒362-0035 埼玉県上尾市仲町1-8-31 新和エクセルビル303  
例会場 東武パレットホール (ボリアス) TEL/FAX 048-775-7788

発行 文芸春秋社

